

みなみかぜ

No. 589 2025.4.1

編集 -黒石・厚南・西宇部人権学習会-
みなみかぜの集い

発行 宇部市隣保館厚南会館

「第27回黒石地区人権教育推進大会」の報告

黒石地区人権教育推進委員 花藤 康 満

令和7年2月2日（日）に「第27回黒石地区人権教育推進大会」が開催されました。

オープニングでは、東割保育園の園児による元気でかわいいダンス（銀河鉄道99）が披露され、会場が和やかな雰囲気になり大会を盛り上げてくれました。

作文発表では、黒石小学校6年の天畠夕桜さんが『ジェンダーレス差別をなくしたい』と題して、「男性だから、女性だからこうじゃないといけない。」と女性の人権と権利が、決めつけられる世の中ではなく、自分らしさを出せる世の中になって欲しいと発表されました。

次に、黒石中学校1年平川創士さんは『人権とは』と題して、SNSから「ネットいじめ」の現状や問題点を。また、「障害者」の権利について勉強したこと。人権教育から「思いやりの心」で行動出来る人間に。と発表してくれました。

二人の作文はとても素晴らしく、深い感銘を受けました。

後半の講演は、地域の皆様から要望が多く3年越しに実現した、「由宇亭拓の輔（ゆうてい たくのすけ）」との芸名を持たれる塚田拓司さんに落語と講演がセットになった、『あなたも大切、私も大切！～「人」を笑顔にするコミュニケーション』と題して、講演を頂きました。

落語は笑いながらの楽しいはなしで、落語をとおして相手の気持ちになって考え、発言・行動することが大切など盛り沢山紹介され、普段忘れていた感謝の気持ちや、自分の誤った考え方など、改めて多く考えさせられました。

講演では、笑いの効果は脳の活性化、血行促進、NK細胞の活性化などに効く副作用のない万能薬になる。落語は人間の業を題材にして、人間本来の持っている欲望を笑いに変えながら行動を見つめ直す魅力・効果がある。また、言葉は相手を考えて、キャッチボールのようにコミュニケーションをうまくとっていく必要があるなど話され、最後に、障害のある方が言われた「私たちは不幸ではない、不便なだけです。」という言葉を紹介され、その不便さを私たちが支えていくことこそが

人権ですと締めくくられました。

今回の講演で、日常生活や人との関わりの中で、人権についての様々な課題が存在することに気づかされました。今後、地域で生活するうえでの大切なことを学ぶ、大変貴重な機会を得た大会となりました。

4月2日(水)は、「世界自閉症啓発デー」です。

2007年12月の国連総会で、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day) とすることが定められました。

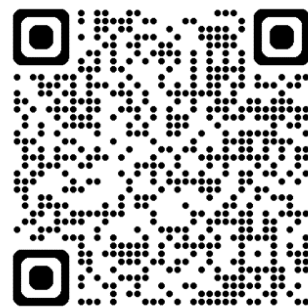
この日を中心に、世界各地で自閉症に関する啓発の取組が行われます。

4月2日の「世界自閉症啓発デー」は、日本各地の代表的な建物などを、自閉症のブルーにライトアップする取組が行われます。

◆自閉症は生まれつきの脳機能障害の一つ

〔特徴〕

- ・言葉の発達の遅れ
- ・気持ちや感情がうまく伝えられない
- ・他人の言葉の意図がわからない
- ・パターン化した行動やこだわり など



「自閉症」を知ってください

一人ひとりによって自閉症の特徴は違います。一見変わった行動やこだわりにはじめは違和感を抱くかもしれません。しかし、それも「一つの個性」なのです。まずは、温かく理解することから始めてみませんか。

出典：政府広報オンライン

(https://www.gov-online.go.jp/data_room/calendar/202504/event-3225.html)

(<https://www.gov-online.go.jp/prg/prg26324.html>) の内容を加工して作成

【巡回職業相談 ～就職活動に関する個別相談～】 (申込必要〈随時〉、無料)

■申込 [☎31-0164](tel:031-0164) 部門コード 44# ハローワーク宇部 専門援助部門

■会場 隣保館厚南会館

■日時 申込時に設定された日時にお越しください。

※申込が随時になりました。

【みなみかぜの集い(黒石・厚南・西宇部人権学習会)開催】 〈申込不要、無料〉

■日時 令和7年4月23日(水) 18:30~19:30

■会場 隣保館厚南会館 2階 大会議室

■内容 人権啓発ビデオ「あなたのいる庭」視聴